

競技注意事項

2017 中学通信

1 本大会は 2017 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付する。
ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却する。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップは、パロマ瑞穂北陸上競技場を最終種目の招集開始時刻まで使用できる。
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。北陸や多目的広場、競技場周辺等では行わない。
- (3) パロマ瑞穂スタジアム 2階室内雨天走路の使用は雨天時のみ使用できる。その際は放送で指示をするので、別ページの使用ルールを厳守し、競技役員の指示に従うこと。
- (4) 本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用できる。
- (5) 北陸上競技場において、直走路でのスターティングブロックの使用は100mHの練習を除き、110mHのスタートラインから行うこと。（事故防止・安全確保の措置）
- (6) 使用した器具は、各自で責任を持って片づけること。

4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、競技者ホール(100m スタート付近)に設ける。
- (2) 招集は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	30分前	20分前
男子棒高跳	70分前	60分前
女子棒高跳	40分前	30分前
他のフィールド競技	40分前	30分前
混成競技	1種目目は他の競技種目と同様に招集所で行う 2種目以降はトラック15分前現地 フィールド20分前現地	

- (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了60分前までに招集所に提出する。用紙は招集所に用意する。
- (5) 他の種目に出場しているなど特別な事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

5 競技場への入退場について

- (1) 入場は、すべて招集所より係員の誘導により行う。
- (2) 退場は、下記による。
 - ・トラック競技 フィニッシュ地点退場口から、階段を上がり2階の雨天走路（全天候）の両端を通って退場する。（正面スタンド下、本部室前を通行しない）
または、1階中通路をスパイクを脱いで通行する。
 - ・フィールド競技 競技役員の指示・誘導による。

6 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 決勝のレーンは、主催者において公平に抽選し、その結果はスタンド正面階段上の記録掲示板に掲示する。
- (3) 欠場者のレーンはあける。
- (4) 走高跳、走幅跳の1組はAピット、2組はBピットで競技を行う。

7 トラック競技の次のラウンド進出の決定について

- (1) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。(競技規則第167条)
- (2) 抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンスしてから10分以内に本部へ集合する。
- (3) 進出決定者は、アナウンス及び大型ビジョン、スタンド正面階段上の掲示板で発表する。
- (4) AB決勝を行う種目について
「0着+16」の種目は、予選記録の上位8名でA決勝、9番目～16番目の8名でB決勝を行う。
※いずれにおいても、A決勝進出者が決勝を棄権しても、B決勝からA決勝への繰り上げは行わない。

8 競技について

- (1) トラック競技は、競技規則162条6・7により、不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。
- (2) フィールド競技の招集後競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、予選は下記のとおり。状況により変更することがある。

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m60	1m75	1m64	1m69	1m74	1m79	1m82	1m85	
男子棒高跳	3m00	3m80	3m10	3m30	3m50	3m70	3m90	4m00	
女子走高跳	1m35	1m50	1m39	1m44	1m49	1m54	1m57	1m60	

※決勝 練習はA、Bいずれかの希望する高さで行う。

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m70	1m79	1m73	1m76	1m79	1m82	1m85	1m88	以後 3cm
男子棒高跳	3m20	3m80	3m40	3m60	3m80	3m90	4m00	4m10	以後10cm
女子走高跳	1m45	1m54	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	以後 3cm

- (4) 第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。
- (5) 棒高跳競技者は「棒高跳支柱位置申請」を競技場で行う。
- (6) 混成競技の走高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。状況により変更することがある。

混成競技			練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
中学	男子	走高跳	1m35	1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後 3cm
四種	女子	走高跳	1m15	1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m41	以後 3cm

※練習はA、Bいずれかの希望する高さで行う。

9 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。
- (2) フィールド競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。2個まで使用できる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。走高跳はテープを持参して使用する。
- (3) リレーのマークは主催者で用意する。

10 競技用靴について

スパイクピンの長さは9mm以内。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4mm四方以内でなければならない。スパイクピンの数は11本以内とする。

11 表彰について

- (1) 各種目の優勝者には賞状・賞品、2～8位には賞状を授与する。(リレーは2・3位)
- (2) A・B決勝を行う種目は、A決勝出場者のみ表彰の対象とする。
- (3) 表彰式は1～8位入賞者に対して行うので成績発表後、本部表彰室に集合する。

12 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) バックスタンドの最上部以外には応援幕、部旗等を張ってはならない。
- (2) 応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入って行わない。
- (3) **清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行き、環境美化に努める。**

各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は一部の学校の部員の奉仕活動により行われており、その労力は多大なものとなっております。

他人に迷惑をかけないよう、互いに気配りください。

この大会は清掃当番を21日(木) 扇台中学校 と 大曽根中学校

22日(金) 大高中学校 と 長良中学校 をお願いしています。

競技終了後ただちに本部前に集合して下さい。

13 その他

- (1) 大型ビジョンを活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の訂正は、本部に申し出る。
- (2) 400mまでのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走り、減速し止まること。
- (3) リレーは、バトン渡し終わってもすべてのチームが通過するまで自分のレーン内に止まる。
- (4) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。
- (5) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。
- (6) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室(フィニッシュ付近スタンド下)において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (7) 記録証は、400円を添えて、記録室へ申し込む。(送料込み)

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担(持参)してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

※ 全国大会の標準記録を突破した学校の顧問は、本部で全国大会受付担当より必要書類を受け取る。

雨天時の雨天走路使用上の注意

- ① 危険防止のため、なるべく北競技場でウォーミング・アップを行うこと。
- ② レーンの使い方
 - a 図のように、外側2レーンを歩行とジョグに使用する。
 - b 内側1レーンを走行レーンとする。ただし、『北→南』の一方通行とする。
- ③ 選手・監督以外の人は立ち入らない。
- ④ スタンド、スタンド下の控え場所に移動する場合には、両サイドから歩行レーンを使用する。
- ⑤ 練習をする場合には、周囲に注意し、スピードをひかえて、怪我をしないようにする。

